

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) - コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) - 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) - 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 高度専門職業人を旨とする要求に対応したカリキュラムを作成する。	→ 「教育学研究科の教育課程を継続的に検討する委員会の有無と検討状況」「必要な授業科目数の増加」「大学院の科目における授業形態に関する調査」	C	C	B		
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

☆	目標1	教育課程は、学生が高度な専門的知識を身に付けると共に、実践的力量を強化するようコースワークとリサーチワークに分けて体系的に編成されているが、大学院問題検討委員会、学部長室会、研究科委員会等で、検討を進め、研究演習(ゼミ)を増設し、学生が各々の興味・関心にそったゼミ選択ができるよう、リサーチワークの部分の充実を図った。また、幼稚園教諭の専修免許のための教職に関する科目の中に「子ども家庭福祉学特殊講義」を増設することによって、コースワークの選択肢を広げている。
	備考	